

## 過去のテレビ映像に見る知床・斜里

みなさんご存じかと思いますが、博物館常設展示の歴史民俗コーナーには斜里町を紹介する映像展示のコーナーがあります。開館当初から「厳しい自然と共に」という題名のビデオを放映していましたが、内容が時代に合わなくなったことやマスターテープの劣化が著しいこともあり、新たな映像に更新しようということになりました。そこで博物館に収蔵された映像資料の中から、映像展示に使用できるものがないか、斜里・知床をテーマにした番組を収録したビデオテープを見直してみました。今回はこれらの番組から当時の知床・斜里をふり返ってみたいと思います。またNHKの了解を得てこれらの番組映像を短くまとめたダイジェスト版を映像資料として今後新たに展示室で放映の予定です。

現在知床をテーマに放映される番組は自然をテーマにしたものが圧倒的に多いように思います。知床の原生の自然、豊かな生物相は、放送番組ではもっとも古い映像と思われる昭和33年放送NHK「日本の素顔」や、昭和40年代前半に放送されたNHKの人気ドキュメンタリー「新日本紀行」でも番組の重要な要素になっています。しかし、この時期の番組では、「大自然」にある時は恵みを、ある時はその圧倒的なパワーに翻弄される人々の暮らし、その厳しい生活も、近代化、高度経済成長の波が押し寄せ、少しずつ社会基盤が改善され不便さから開放されつつあること、秘境から天然資源や食糧の生産基地として知床が発展することへの期待、なども描かれています。それにしても当時から「知床」はさまざまな面で注目されていたからこそ、これだけ番組が作られ、映像として残ったと言えるかもしれません。

### 昭和33年放送NHK「日本の素顔」(モノクロ)

番組が放映された昭和33年には斜里ウトロ間のバス路線が開通、前年には国鉄根北線斜里越川間が開通しています。この番組ではウトロ・岩尾別地区を中心に道路・港湾・交通など社会基盤の整備で変わりつつある人々の暮らしを紹介しています。

この番組には岩尾別開拓地での開拓農家の厳しい生活が、前年のウトロ岩尾別間の道路開通でいかに改善されたかなどが描かれています。開通したでこぼこ道を走る荷台に開拓民を乗せて走るトラックや、切り出した薪を牧柵代わりに積んで飼われてた牛など興味深い映像があります。

映像の中で開拓民が鍬をふるう大地と、たくさんの観光客がバスや乗用車で通過する現在の岩尾別台地、背景の変わらない知床連山の山並みが同じ場所であることを教えてください。

その他、斜里岳を背景に砂利道を走る路線バス、昭和25年から始まった魚田開発により整備中のウトロ港、サケマス漁の期間番屋で過ごす夫を見送る妻の姿、などの映像もあります。制作者は「秘境」知床の開発、近代化の必要性を訴えています。

### 昭和39年放送NHK「新日本紀行」(モノクロ)

知床国立公園指定の年放送の番組です。この番組では漁業を中心に、突きん棒によるイシイルカ猟、昆布漁、サケマス漁が紹介されています。羅臼側の映像がほとんどで、夏の間昆布番屋に移り住んだ家族の子どもたちのために、教師が各番屋を訪れ出張授業をする様子、サケマス定置の網おこし、各番屋からサケマスを集める集荷船などの映像があります。

### 昭和43年放映NHK「新日本紀行」(カラー)

第2次知床ブームで全国からたくさんの観光客が訪れた時期に放映されたものです。この番組はかなり盛りだくさんの内容で、自然、考古、産業まで広く紹介されていますが、知床の豊かな天然資源とその可能性についても紹介されています。

番組冒頭はウトロから知床岬の番屋に夏期の間一家で移り住みウニ漁を営む家族の映像で始まります。ナレーションでは小規模な採集漁業が成立している知床の水産資源の豊かさを強調しています。その他漁業ではサケマス定置網漁、新巻鮭作りと出荷風景などもあります。

知床のカムイワッカでの硫黄採掘史の紹介、金山開発(場所不明)、斜里羅臼町長による知床横断道路建設促進に向けた会議の様子、森林資源、褐鉄鉱などの地下資源開発のための知床林道の開削のようすなど、知床に眠る天然資源開発への期待を込めた映像、一方で岩尾別開拓の挫折、当時全国一の赤字路線であった根北線など国の計画通り進まなかった事案の映像もあります。エンディングの知床林道開削に従事する東北からの出稼ぎ労働者の背景の海を、切り出された木材を網走へ24時間かけて海上曳航する船が横切る映像に流れる「知床林道が完成すれば、海上輸送から、より効率的なトラック輸送ににとってかわる」というナレーションが印象的です。

### 昭和45年放送NHK「新日本紀行」(カラー)

この番組ではこの年に廃止された国鉄根北線と、鉄路にまつわる人間模様を描いた番組です。博物館に展示されている越川駅の駅名板も登場します。沿線の映像や、さよなら列車の出発式の様子などが記録されています。(増田泰)

暖かくなり、動物達の活動する姿をよく見かけるようになりました。エゾリスのかえでも無事に森へ帰ったし・・・。また交通事故で運ばれてこないように、皆さん車のスピードは控えめにしてくださいね。

発行 斜里町立知床博物館協力会 2004.4.15  
099-4113  
北海道斜里郡斜里町本町49 斜里町立知床博物館内  
TEL:01522-3-1256/FAX: 3-1257  
<http://www5.ocn.ne.jp/~museumsp/>